

土淵町常堅寺 「河童の登城想像図」 展示会

日時 令和7年7月24日(木)～30日(水)

午前10時から午後3時まで

会場 遠野市土淵町土淵 7-50



全国のかっぱ愛好家で組織するかっぱ村が開村50周年を迎えます。昨年度はかっぱ寺で知られる常堅寺を会場にかっぱ村開村50周年記念祭を実施しました。令和7年5月末には、「かっぱ村」が繋ぐ縁で、茨城県牛久市のちりめん作家上村紀代子先生とちりめん細工花工房の会の皆様が制作した「河童の登城想像図」と「雛のつるし飾り」が、常堅寺に寄贈されましたので、一般公開をします。

あわせて、寛永11年(1634)、遠野南部氏より寄進された「勢至観世音菩薩立像」も一般公開します。



むかしむかし あったずもな

遠野の土淵に常堅寺という古いお寺がありました。そのお寺の山内にはかっぱ淵があり、たくさんのかっぱが住んでいました。

寛永4年(1627)3月、八戸根城南部弥六郎直義(直栄)公を遠野の地に国替えしました。この時、遠野郷の歴史の古さと伝統ある耕雲寺系寺院長泉寺の筆頭寺である常堅寺を遠野南部藩の触頭寺院としました。そして、遠野南部公より、護り本尊と伝えられる勢至観世音菩薩と灯明料として12石4斗の寺領を賜りました。

山内に住んでいたカッパたちは、自分たちのことのように大喜びし、さっそくお礼に小烏瀬川でとれた新鮮なイワナを遠野南部公に届けましたとさ。どんどはれ (土淵バージョンで想像してみました!)

※法要等がある場合は、外でお待ちいただく場合があります。

曹洞宗 常堅寺 (じょうけんじ)

岩手県遠野市土淵町土淵7-50 電話 0198(62)3322